

# AIST 計測における不確かさ研修（中・上級コース）募集案内

国立研究開発法人 産業技術総合研究所(AIST) 計量研修センター  
協力：AIST 工学計測標準研究部門 データサイエンス研究グループ

本研修コースは、計測の不確かさ評価について基礎的知識をお持ちの方を対象に、実際の不確かさ評価において用いられる高度な統計的手法や「測定における不確かさの表現のガイド」（GUM）についての詳細な解説を、演習をまじえて行います。

これにより、様々な局面で的確に不確かさ評価を行えるとともに、不確かさ評価についての指導的役割を果たせる人材を養成することをねらいとしています。

研修日時	2024年10月16日(水)～10月17日(木) 2日間 1日目：10:00～17:30 2日目：9:00～17:00
研修会場	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量研修センター 〒305-8561 茨城県つくば市東1-1-1 中央事業所1群 さくら館
受講料	45,300円（49,830円 消費税10%込み）
その他の経費	宿泊費：1泊あたり1,700円 さくら館での宿泊は必須ではありません。また、昼食・夕食は構内食堂などを利用可能です。
定員	24名（定員になり次第、締め切ります）
受講対象者	測定の不確かさ評価について基礎的知識をお持ちの方 （測定の数学的モデルに基づく感度係数の計算や、合成標準不確かさ及び拡張不確かさを求める基本的な方法を概ね理解していることを想定しています。）
申込期限	2024年8月22日(木)（ただし、定員になり次第締め切ります）[注1]
申し込み方法	産業技術総合研究所 計量研修センターの Web ページ[注2]から受講申請シートをダウンロードして、必要事項を記入の上、下記のメールアドレスへ添付ファイルにて送信してください。 様式：受講申請シート（エクセルファイル） 送付先メールアドレス：M-aist-uncertainty-ml@aist.go.jp（AIST 不確かさ研修事務局） 不明な点がある場合も、上のメールアドレスにお問い合わせください。
プログラム概要	1. 不確かさ評価の基礎 2. GUM、VIM をめぐる国際的動向 3. GUM の読み方 4. 不確かさ評価における留意点（CMC 等の利用、有効自由度の考え方など） 5. 回帰を行った際の不確かさ評価について（演習を含む） 6. 分散分析の利用（演習を含む） 原則としてパソコンをご持参ください。演習で使用します。
講師	産業技術総合研究所 田中秀幸、城野克広、高井絢之介
その他	1) 受講修了者には、受講修了書を発行します。 2) 受講申し込み受理後に、受講料等の支払い方法などをお知らせします。

なお、本研修受講のために提出頂く書類等は、本研修のためにのみ使用し、他に使用することは一切ありません。

[注1] 同一組織内で受講者を変更する場合も、この日までにご連絡ください。以降の変更はできません。

[注2] 計量研修センターの Web ページ <https://unit.aist.go.jp/qualmanmet/metroltrain/index.html>